

今、改めて分譲マンション管理の重要性を考える

マンションを負のストックとせず、暮らし続けられる住まいとしていくために

2024年 6月16日(日) 15:00 ~ 17:00

会場：梅田スカイビルタワーウエストE会議室(22階 2ndフロア)

講師 **大島祥子** 一級建築士事務所 スーク創生事務所 代表
京都光華女子大学キャリア形成学科 准教授

ディスカッサント：吉田 友彦(文庫理事・立命館大学)



都市部の主要な居住形態として定着してきたマンション。解体されることは極めてまれで、年々その数を増やしている。分譲マンションは管理組合により管理されているが、適切な管理が必要であるにもかかわらず、これまで大きな関心を集めることはなかった。しかし、滋賀県野洲市で2020年に廃屋と化したマンション解体の行政代執行が実施されることで、適切な管理の重要性が浮き彫りになり、多くの関心を集めるようになった。

このような背景を受け、マンションの管理計画認定制度の開始や区分所有法の改正、コミュニティ形成に向けたインセンティブなど、様々な取り組みが進められている。しかし、分譲マンションは管理の主体、住民の意識の温度差、意思決定の困難さ、建物の堅牢性、住宅市場での評価の偏りなど、様々な課題が存在している。

京都市内ではNPOが主体になって2011年からマンション管理の状況を第三者が評価し、中古住宅市場に反映させる試みが進められた。

フォーラムでは、このNPOの取組の実装から得られた教訓をもとに、マンションストックを負の遺産とせず、安心して暮らし続けられる住まいとしていくための方法を考えたい。

文庫総会后、14:30開場予定
参加費無料・申込不要!

大島祥子氏プロフィール

京都を拠点に、住まい・まちづくりの実践、研究をしています。日々、まちづくりの縁の下を極めるよう精進し、最近では大学生がまちづくりに参加する機会を創ることに尽力しています。一級建築士、技術士(建設部門)、宅地建物取引士、博士(学術)。